

かしま 議会だより

第105号

令和3年3月議会号

令和3年4月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



祐徳稲荷神社のつつじ

3月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P6
一般質問(11名)	P7～P12
討論	P12
新年度予算審査特別委員会	P13
特別委員会報告(公共交通・まちづくり)	P14～P15
議会あれこれ・編集後記	P16



鹿島市議会
令和3年3月定例会 会期日程

1、会期
自 令和3年2月24日
至 令和3年3月24日

2、日程

- 24日開会
会議録署名議員の指名
会期の決定
議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
- 25日休会(議案研究)
- 26日休会(議案研究)
発言内容通告締切(正午)
- 27日休会
- 28日休会
- 【3月】
1日休会(議案整理)
- 2日議案審議、質疑、討論、採決
- 3日議案審議、質疑、討論、採決
- 4日休会(議案整理)
- 5日休会(議案整理)
- 6日休会
- 7日休会
- 8日新年度予算審査特別委員会
(開会、現地調査)
- 9日新年度予算審査特別委員会
(産業部)
- 10日新年度予算審査特別委員会
(教育委員会ほか)

- 11日新年度予算審査特別委員会
(市民部)
- 12日休会(議案整理)
- 13日休会
- 14日休会
- 15日新年度予算審査特別委員会
(総務部)
- 16日新年度予算審査特別委員会
(建設部、審査、討論、採決)
- 17日一般質問(4名)
- 18日一般質問(3名)
- 19日一般質問(2名)
- 20日休会
- 21日休会
- 22日一般質問(2名)
- 23日休会(議案整理)
- 24日委員会審査報告
議案審議、質疑、討論、採決
閉会

次のことを審議し決定しました

【1月臨時会及び3月定例会】

議案番号	議案内容	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	議長	採決結果	
議案第1号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
上記は、1月臨時会の案件。以下は、3月定例会の案件																			
議案第2号	専決処分事項の承認について(令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第3号	令和3年度鹿島市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第4号	令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第5号	令和3年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第6号	令和3年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第7号	令和3年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第8号	令和3年度鹿島市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第9号	鹿島市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第10号	令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第10号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第11号	令和2年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第12号	令和2年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第13号	令和2年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第14号	令和2年度鹿島市下水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第15号	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第16号	令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第11号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第17号	財産の取得の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第18号	令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第19号	新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第20号	新鹿島市民会館新築工事(電気設備)の請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第21号	新鹿島市民会館新築工事(機械設備)の請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第22号	新鹿島市民会館新築工事(舞台設備)の請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・(監査委員のため審議に参加できない)

議案審議

議案第3号

令和3年度鹿島市一般会計予算について



福井 正議員

質問 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の

影響で、飲食店をはじめ農漁業等でも、収入が減少していると思われるが、当初予算編成で、市税などの歳入が減少するのは。その補填策はどうするのか。

答弁 歳入不足が予想される。その補填として、地方交付税がやや増加すると見込まれる。また、ふるさと納税が7億円程度に増加する見込み。あとは基金取り崩しと臨時財政対策債などでまかなう。

議案第3号

令和3年度鹿島市一般会計予算について



松田 義太議員

質問 令和3年度一般会計当初予算は、歳入の面で新型コロナウイルス感染症の影響により、市税は対前年6・7%減、2

億809万5千円減、また、歳入に占める市債(借入金)依存度は、市民会館建設事業債の影響により全体予算の16・6%となっている。市債残高は約135億円となり、一方、基金残高は約25億円と、厳しい財政運営が続く。今後、市民会館建設、鹿島駅前周辺整備等に取

り組んでいかなければならないので、適正な運営に努めてもらいたい。

答弁 限られた財源の中で事業の選択と集中など収支のバランスを図りながら、市民の負担に応える事業を行っていく。

議案第3号

令和3年度鹿島市一般会計予算について



松尾 征子議員

質問 マイカーを手放した高齢者は、JRを利用することが多い。駅までは自転車を使い、駅前の駐輪場に停める。遅く行

くと通学の生徒などが多く停めているので、停めるスペースがない。早くから要求をしていたが、対応されていない。どのようにしているのか。

答弁 十一月に要求を受けている。その後、「障がい者・高齢者優先」の看板を取り付けた。

要望 看板を立てただけでは解決しない。狭いスペースなので、ちゃんとした高齢者・障がい者用の専用駐輪場を早急に設置すること。

議案第9号

鹿島市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について



伊東 茂議員

質問 浜新町の市営住宅跡地を売却し、定住対策の一環として有効活用する改正案については理解できるが、若い世代や高齢者の一人暮らしの方は

家賃が安い住宅を求めている。公営住宅に入居できない市民への打開策が必要と考え、セーフティネット制度の活用を求め。

答弁 セーフティネット制度は民間住宅を活用し、不足している公営住宅を補い、空いている民間住宅に入居を促す制度である。

改修費用補助と家賃補助を行うことで入居者の負担軽減に繋がり、有効的と考えている。早期実現を目指し対応したい。



市営住宅跡地(浜新町)

議案第10号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第10号)について



中村 日出代議員

■廃棄物処理事業について
質問一 燃えるゴミ袋は角のある物を入れると破

れやすい。強度の強い破れにくい素材にしてもらえないかとの要望が多く、市民の方々からあるが、検討してもらえないか。

答弁 袋にも重さに強い、縦に強いと色々あるが、検討する。

質問二 鹿島市の昨年の自殺者の状況について。

答弁 昨年の鹿島市の自

殺者数は5名で男性4名、女性1名。年齢別は40代2名、50代2名、60代1名で、原因は健康問題と複合的に経済問題、対人問題がある。

意見 相談窓口業務を充実してもらいたい。

議案第10号

令和2年度鹿島市一般会計補正予算(第10号)について



勝屋 弘貞議員

■市道の整備について
質問 年間、どのくらい

の要望があっているのか。優先順位と消化率は。

答弁 年間130〜160件程度の要望があり、交通量や緊急性、整備熟度等を総合的に判断し対応している。

予算や土地の問題等があり全てに應えることができず、要望の消化率は6割程度である。



議案第18号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



樋口 作一議員

■新型コロナウイルス対策における農業者への支援について
質問 どのような考えで

農業者への支援を事業化されたのか。

答弁 農家の経営努力だけでは避けられない減収に対処するため、収入保険の周知及び加入の促進を奨励するセーフティネット加入促進補助金を設けた。

また、農林漁業者経営継続サポート補助金を設

け、新型コロナウイルス対策に要する経費や事業継続に必要な機械の購入・修繕、販路拡大の初期投資などの一部を助成することとした。

議案審議

議案第18号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



中村 和典 議員

質問一 新型コロナウイルス感染症対策第5弾として、地域経済対応分8事業1億9630万円及び感染症対応分6事業

2797万2千円、合計14事業、2億2427万2千円の補正予算が計上されているが、対象事業及び予算額の配分は、どのようにして決められたのか。



今後、配布予定の4,000円分の「助かつ券」

議案第19号

新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約締結について



池田 廣志 議員

質問 新市民会館の基礎となる鉄筋コンクリートの骨材について、尋ねる。旧市民会館は、骨材に

海砂ではなく川砂が使われており、鉄筋の腐食での赤サビによる壁面の割れ等もなかったもので、50年の長きにわたり市民に愛されてきた。新市民会館建築の骨材にも川砂のみを使つてほしい。

1トなので、川砂を使うように、今後の打ち合わせの中で協議していく。

議案第19号 新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約締結について



稲富 雅和 議員

質問一 新鹿島市民会館は鹿島市の予算、鹿島の企業でしっかり建設して頂きたい。落札業者は地元の協力会社を使って建設してほしい。

答弁 発注の段階から市内の業者に受注をしてもらうように、こういった入札方法にした。協力会社については、これから市内業者に協力を頂くようにお願ひしていきたいと考えている。

質問二 令和4年11月25日完成に向けて多くの業者が出入りされるが、駐車場の確保は。



新市民会館完成イメージ図(全体)



新市民会館完成イメージ図(ラウンジ)

一般質問

災害に強く、みんなが住みやすく、暮らしやすいまちとは



池田 廣志 議員

質問一 市民が安心して暮らせるように引き続き「第七次鹿島市総合計画」を策定し「国土強靱化地域計画」や「防災マップ」を作り、市民の安心・安全を図られているが、去年は、7月豪雨災害を受け、4月から始まる「第七次鹿島市総合計画」の基本構想に「災害に強いまちづくり」を新たに掲げられたが、どの様なまちづくりなのか。まもなく梅雨入り、地域の防災をどう考えるか。

答弁 「第七次鹿島市総合計画」の中の目指す都市像基本的な考え方は変えていない。去年の7月豪雨を受け「災害に強いまちづくり」を新たに基本構想に加えた。そもそも鹿島市は歴史的に見ると、災害に強いまちではなく、災害に強いまちの定義はないと考えている。現在、当地域の洪水対策として、県の危機管理防災課、河川砂防課、杵藤土木事務所、ダム管理事務所と鹿島市・嬉野市・白石町・太良町と佐賀地方気象台による減災対策協議会を立ち上げ、河道の掘削、堤防の整備、河川の水位情報板や監視カメラの設置、さらにダム、ため池の事前放流について、話し合っているが、近年の大規模災害に備えて、3年度中に、県の農林水産や都市建設、さらに下水道担当者を加えた

流域治水協議会を立ち上げる。また、浜川と七浦地区の河川に監視カメラを設置する。

質問二 中木庭ダムや嬉野市の岩屋川内と横竹ダム、白石町の深浦ダムの管理について、県との協議は。

答弁 杵藤圏域2級河川既存ダム放水調整協議会で、4ダムとも雨季前に1メートル下げると決まった。

質問三 中木庭ダムは、洪水調節350万トン、農業用水等250万トン、水道用水130万トンだが、上水道は全量地下水で給水していて、雨季前にダムの水を使うことは無い。この水道水分を事前放流し、防災に努めるべきだと思うが。

答弁 ダムの事前放流は、1メートルと決まっている。さらに放流が出来るのか関係機関と協議したい。

令和2年7月豪雨による被災箇所、復旧工事の早期完了に向けて



伊東 茂 議員

質問 浜川流域被災は護岸・頭首工・堤外水路等が30箇所以上、市道被害30路線・80箇所以上、農地農業用施設は150箇所以上と近年、類を見ない被害状況となった。被災箇所の復旧工事については、重機使用料・原材料費補助を受けながら、また、多くの市民の協力で小規模被災箇所は早期復旧となった。しかし、大規模な被災箇所は建設業者への復旧工事の委託となり佐賀県管理箇所は土木事務所、本市管理箇所は都市建設課、農林水産課とまたがり、工事発注は2月から3月に集中する。限られた数の市内業者で工期内の工事完了に支障をき

たさなにか危惧している。早期に建設業協会と協議し、各課の垣根を乗り越え、優先順位を策定し復旧工事の早期完了を望む。

答弁 令和2年7月豪雨はこれまでにない大きな被害を受け、被災から今日まで一日も早い災害からの復旧を目指し努力している。災害の発生の際には議員・地元区長さんや多くの関係者に協力して頂き、大変感謝している。

優先的に進める工事は少しずつ発注を始め、今後は工事が本格化していく予定である。

入札契約を所管する企画財政課が調整し、建設環境部と産業部での災害箇所・工事発注スケジュール等を地元土木業者に説明会を開き理解を求めた。鹿島市で起こった災害は、地元建設業者の力で復旧工事をやりたいと要望が出された。鹿島市は



災害復旧工事(浜川上流)

一般質問

一般質問

国道498号の「走行性の高い道路」整備は



福井 正議員

質問一 佐世保・武雄間の整備が進んでいる。起

検討する。候補地はまだ決まっていない。企業からの引き合い、市の財政状況などを考慮して決める予定。企業誘致は事務系やサテライトオフィス等、IT等で行っている。現在1社と接触している。

新幹線西九州ルート開業後の長崎本線運行について

質問一 長崎本線は現在一日当たり特急列車上下45本、普通列車33本から新幹線開業後は特急列車が3年間は上下14本、普通列車が現状の本数で運行予定であるが、特急列車は博多直通だが、普通列車はディーゼルで肥前山口で乗り換えの予定と

質問二 新工業団地造成については多数の議員も質問しているが、予定地選定と造成はどういう状況か。また企業誘致の状況はどうか。

質問三 工業団地は今年度検討部会で候補地順位を

新型コロナウイルスワクチン接種の取り組みについて

質問一 新型コロナウイルスワクチン接種は、医療関係者の方から始まっている。そのほかの市民の接種の場所と接種の順番はどうなるのか。また接種の情報管理はどうか。

質問一 接種場所は個別接種は指定会場で接種。接種順番は高齢者から始まり、市民に接種券を配布し、接種券受領後、接種希望者はコールセンターに電話かインターネットで予約する。個別接種は指定した医療機関で予約して接種。接種情報はワクチン接種システムで管理し、国・県と情報共有する。

新型コロナウイルスワクチン接種はすべての市民に行き届くように



松尾 征子議員

質問一 コロナの感染拡大で市民誰もが不安な生活をしている中、全国民に「ワクチン」が接種されることになり、多くの

計画を立てて実施する。高校生までの医療費の完全無料化を

質問一 中学生以下医療費助成は取り組まれているが、高校生には助成していない。高校生の通院を無料化し、全ての子ども医療費を完全無料化した時の財源は。

質問二 少子化の原因は様々だが、まず、子どもを産み、育てやすい経済的に恵まれた環境を作ることが必要。次の鹿島市を支える子どもたちのために予算を使うのは当然。市の予算の中には無駄と思われるものもある。

質問二 現在、プロジェクトチームでそのような人の把握の方法などを検討している。自宅療養の人は訪問診察、介護施設では施設においてできるが、その他については緻密な

質問二 地方創生・一極集中について市の考え、取り組みを聞く。

質問三 観光振興においてDXの立ち上げに取り組んでいる他、IT関連企業やサテライトオフィス誘致に佐賀県とともに取り組んでいる。

質問四 関係人口の増加に繋げる対策を聞く。

質問五 スポーツ合宿やふるさと教育の強化、ふるさと納税により鹿島を知ってもらった寄付者へのアプローチなどが考えられる。

質問六 ワークেশションの普及導入の考えは。

質問七 先進事例やニーズなど多角的に検証しながら導入の可能性を探っていく。

質問八 今後の移住支援・受け入れ体制を聞く。

質問九 県主催の移住相談会への参加、東京のふるさと回帰センターや県との連携を図る。

有機農業の進展について



樋口 作二議員

質問一 世界の有機農業の現状はどのようなになっているのか。

質問二 農林水産省によると、有機農業面積の割合はEU諸国では10%を超えている国もあるが、日本はアメリカや中国よりも少なく0.2%で、取り組みは遅れているといえる。

質問三 佐賀県や鹿島市の実態はどうなっているのか。

質問四 県内では環境保全型農業に取り組みされている農家は、1000戸を超えており、そのうちJGAP取得者は23戸で、鹿島市では1戸、有機JAS認定農家は25戸で鹿島市では1戸である。

質問五 学校給食での有機農産物使用の実態はどうなっているのか。

質問六 この件についてはこれまで節目節目に取り組みをやってきた。高校生の助成というが、まだ、障がい者やひとり親

質問七 世界では、韓国でも50%を超える自校方式の有機給食が行われるなど進んだ取り組みを行っている国はかなりある。国内では千葉県いすみ市等、意欲的な活動をしている地域が増えてきた。鹿島市では地場農産物使用に力を入れているが有機食材の使用は特にない。

質問八 鹿島市の道路の整備状況について。

質問九 国道207号鹿島バイパスの4車線化は本年度で終了し、市街地を走る国道207号井手・西葉線の整備が今後進むことになる。

子どもたちへの対応もある。

生活保護「扶養照会」の見直しを

質問一 新型コロナウイルス感染症拡大で生活困窮者への支援問題が発生している。厚労省の調査では、生活保護受給者が減った理由の一つが申請時の「扶養調査」。これまでも保護受給に対して「人に知られたくない」「お世話になってよからうか」と考える人が多かった。憲法25条では「国が生活に困窮するすべての国民に対し、最低限の生活を保障する」と定められている。厚労省も「生活保護は権利と認め、ためらわずに申請してほしい」と文書を出している。鹿島市の取扱いはどうか。

質問二 生活保護法に則ってやっているが、「扶養照会」は条件ではない。申請者の同意を得て行っている。

質問三 国道207号七浦方面の越波対策工事で見通しが悪いなど交通障害が起きているが、どのように対処されるのか。

質問四 越波対策は、消波ブロック設置が基本で設計していたが、地盤沈下の恐れがあるところはポリカーボネイド製の板を設置している。見通しの悪い箱崎港の出入り口には、大型のカーブミラーを設置して安全を図る計画である。



七浦・龍宿浦に設置されている消波壁

コロナ禍の就職・求職支援について



杉原 元博議員

質問一 新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えてこない。倒産・失業・離職の現状は。

質問二 飲食店で3件、小売業で2件の計5件で、解雇者数はそれぞれ9人と2人の計11人。この解雇された方々も現在は全員再就職や元の事業所へ復職を果たされている。

質問三 再就職や求職の相談内容を聞く。

質問四 多くの方がハローワークに相談され、一例として、コロナの影響を受けたくない職種、地元で就職したい、他の業種に転職したい等の相談が寄せられている。

質問五 先般行われた企業説明会に参加した高校生の反響や声について伺

鹿島市の移住支援について

質問一 鹿島市への移住実績と支援策を聞く。

質問二 空き家活用事業等5つあり、空き家バンク制度は成約物件がこれまでに53件あり、市外からの移住が29件あっている。

一般質問

一般質問

田澤義鋪氏の立像について



中村 日出代議員

質問一 田澤氏の立像をどのような経緯で鹿島駅交差点の歩道付近に設置したのか。

答弁 田澤氏は鹿島の人物であること。その功績を知ってもらうため又多くの人から見てもらうために現在の所に設置した。

質問二 多くの市民からせめて台座をつけてもらえないかとの要望があり、一番良いのは田澤記念館に設置との声もあるが。

答弁 よりふさわしい場所があれば今後検討したい。

市民武道館の避難場所としての整備について

質問一 昨年の豪雨の際に三道会を避難場所として開設されなかった理由

は何か。

答弁 鹿島地区は8箇所開設した。開設しなかった理由は、開設場所のバランス、安全性の確保があった。

質問二 避難場所としなかったのは、雨漏りがあったからではないのか。

答弁 数年前から雨漏りがあった理由でもある。質問三 生涯学習課で雨漏りの改修の予算があるが、いつ頃に改修するのか。

質問四 三道会のトイレを和式から洋式に改修してもらいたい。その理由は避難した場合、トイレが和式では高齢者や体が不自由な方々が使用しにくいとした時に支障がある。

質問五 自分の命が危な

い時に避難所に市職員が居るか居ないかは関係ない。その時は開設してもらいたい。

質問六 困窮者の相談件数は何件か。

質問七 国は次々と支援策をとっているが、鹿島市独自の支援策はあるのか。

質問八 市独自の一人親世帯給付金を35人に145万円支援している。

質問九 令和元年度は82件、令和2年度は新規相談が249件と増加している。そのうち、緊急小口資金などの貸付が150件と増えている。

質問十 令和元年度は82件、令和2年度は新規相談が249件と増加している。そのうち、緊急小口資金などの貸付が150件と増えている。

鹿島市の今後の財政運営について



松尾 勝利議員

質問一 これまで、鹿島市はニューディール構想を提示し、「かたらい」などの様々な施設の再整備を進めてきた。基金や市債などの状況を見据え、今後の財政運営はどのようにやっていくのか。

質問二 ふるさと納税基金を活用し、様々な事業が出来ている。今後、ふるさと納税のさらなる取り組みをしてもらいたい。どうか。

質問三 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

質問四 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

現在、3つのポータルサイトを活用している。今後も鹿島の魅力を伝えて、寄付額が増加するように検討していきたい。

質問五 新たに19事業者から266品目加わり返礼品の拡充、生産者の販路拡大にもつながっている。

質問六 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

質問七 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

質問八 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

質問九 鹿島市の男女共同参画社会実現の取り組みについて

質問十 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

質問十一 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

質問十二 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

質問十三 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

質問十四 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

質問十五 男女共同参画を積極的に進めるためには、推進協議会など諮問機関を設けて、検討するようなことは考えていないか。

新型コロナウイルス感染症対策について



松田 義太議員

鹿島市のワクチン接種事業について

質問一 市は市内の医療機関での個別接種と、特定の会場で行う集団接種を併用して実施する。接種までの流れについてお伺いする。

質問二 ワクチン接種の優先順位について、65歳以上の高齢者、基礎疾患のある人、高齢者施設等の従事者を順次接種する方針になっている。その後の接種について、子育て環境（保育園、幼稚園、認定子ども園、放課後児童クラブ等）関係者へも配慮をお願いしたい。

質問三 国、県からの指示があつていない。今後、優先順位について、その後、ような動きが出てくれば、検討したい。

質問四 コロナ禍の一次産業について

入が減少する影響があつた。経営継続の意思が損なわれることがないよう必要な支援を行っていきたい。

質問五 市は、これまでに農林漁業者緊急サポート給付金、収入保険補助等、取り組んでこられたが、生産者への周知が行き届いていない。今後の支援策については、現場の声に寄り添い、広報に努めてもらいたい。

質問六 第一次産業への支援策を取りまとめているので、生産者への広報等取り組んでいきたい。

質問七 コロナ禍の一次産業について

質問八 コロナ禍の一次産業について

質問九 コロナ禍の一次産業について

質問十 コロナ禍の一次産業について



207号バイパス沿線の南川地区の問題について



勝屋 弘貞議員

質問一 井手分団地線の途中から南川交差点へ続く農道を市道へ格上げする考えは。

質問二 死亡事故が発生した市道馬渡辻とバイパスとの交差点に押しボタン式の信号機設置は。

質問三 信号機設置については公安委員会が定める指針に沿ってなされる。現地の信号機を設置する

と、200m程度の区間に3ヶ所設置されるということで、見間違いによる事故発生の恐れがある。また、信号機設置のための条件も満たしていない。判断は県の公安委員会となるが、設置に向けて是非ということ協議を行っていく。

質問四 健康相談も組織として対応していくが、最終的には自分を守るのは自分であり、受診率を上げるように努力してもらえればと思う。

質問五 健康相談も組織として対応していくが、最終的には自分を守るのは自分であり、受診率を上げるように努力してもらえればと思う。



横断中の事故が発生したバイパス交差点付近

一般質問

新年度予算審査特別委員会審査報告書

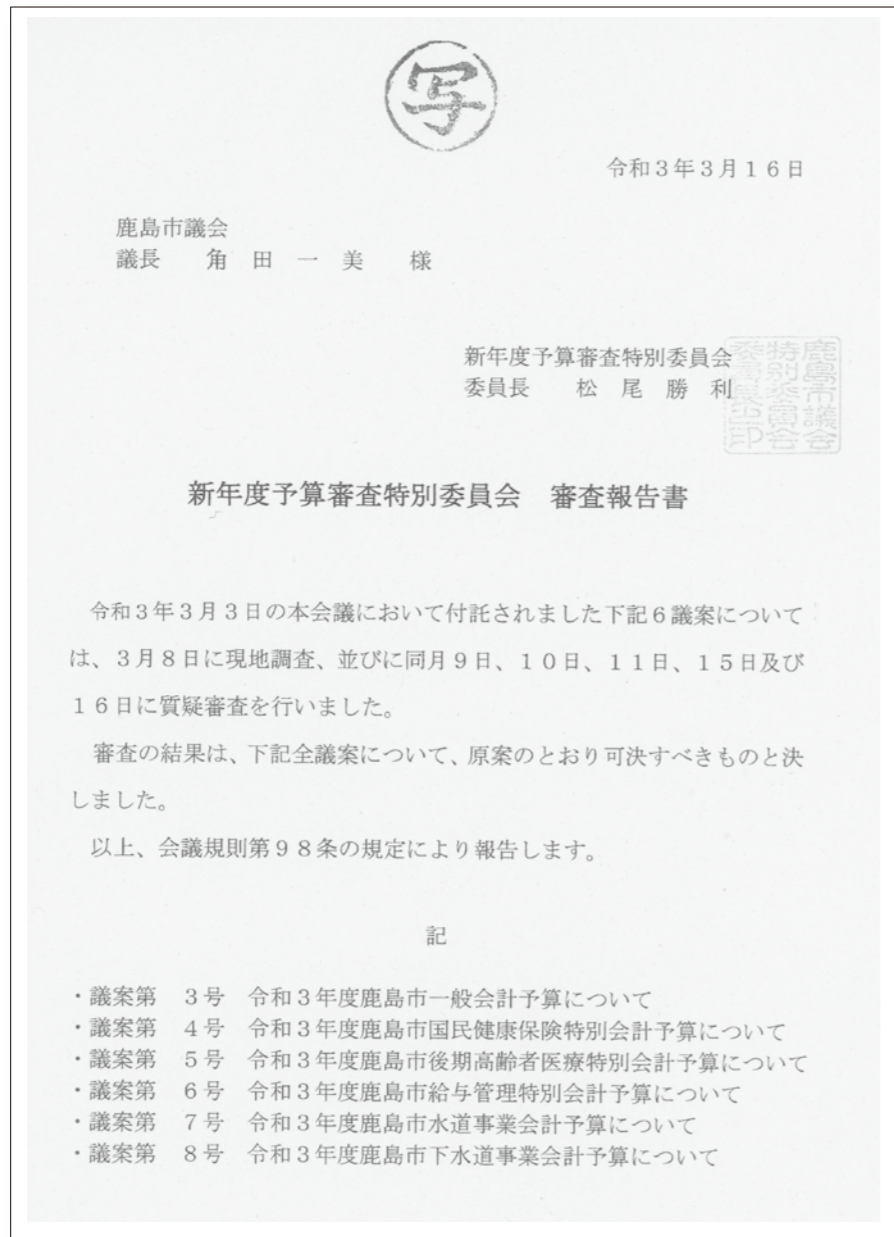
令和3年3月3日の本会議において本委員会に付託されました

- 議案第3号 「令和3年度鹿島市一般会計予算について」
- 議案第4号 「令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について」
- 議案第5号 「令和3年度鹿島市後期高齢者医療特別会計について」
- 議案第6号 「令和3年度鹿島市給与管理特別会計予算について」
- 議案第7号 「令和3年度鹿島市水道事業会計予算について」
- 議案第8号 「令和3年度鹿島市下水道事業会計予算について」は、

令和3年3月8日に現地調査を、9日、10日、11日、15日、16日に審査特別委員会を開き、審査の結果、議案第3号から議案第8号まで、いずれも賛成多数で原案の通り可決することに決しました。

以上会議規則第98条の規定により報告します。

新年度予算審査特別委員会 委員長 松尾勝利
副委員長 稲富雅和



- ・議案第3号 令和3年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第4号 令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第5号 令和3年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第6号 令和3年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第7号 令和3年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第8号 令和3年度鹿島市下水道事業会計予算について

国道207号鹿島バイパスの交通安全対策について



中村 和典議員

質問一 鹿島バイパス全線4車線化供用後、ひと月間に2件の痛ましい交通死亡事故が発生したが、4車線化前と比べ交通量はどのように変化したのか。また、交通事故の発生状況は。

答弁 交通量は、4車線化前と比べると4車線化後が約800台増加している。また、交通事故の発生件数は、4車線化前が11件で、4車線化後が14件、うち2件が車対人の人身死亡事故である。

付近の国道44号と県道の交差点に、道路照明2基を設置する予定である。その他にも現在防護策として柵やポール等を設置している。

給食センター付近交差点の信号機設置について

質問一 地元からの要望に對して、現在どのような検討がなされているのか。

答弁 県の土木事務所や鹿島警察署等と協議を行った結果、3点ほどの問題点を指摘されており、今後とも引き続き関係機関と協議を重ねていくが、信号機設置については、県の公安委員会の判断を仰ぐことになる。

令和2年7月豪雨の災害復旧事業について

質問一 農地・農業用施設災害復旧事業の進捗状況は。

答弁 国の災害復旧事業として、全体で139箇所、235工区、事業費で3億4384万円を見込んでいます。現在の工事発注済みは、5件（14箇所、30工区）で、12・8%の進捗率となっています。

質問二 激甚指定を受けた農地・農業用施設の増高申請が終わり、受益者負担金の割合（率）はいくらになったのか。

答弁 農地は、25・0%が増高後は2・65%、また、農業用施設（農道・水路等）は、8・75%が増高後は0・4%となったため、200万円の水路工事は、8000円の地元負担金で実施できることになった。

今後の災害復旧事業のスケジュールは。

答弁 優先順位をつけて、令和4年度までの3か年で復旧工事を完了させたい。

議案第3号 令和3年度鹿島市一般会計予算について

賛成討論

福井 正議員

議案第3号一般会計当初予算について、賛成討論をする。

一般会計当初予算は、新型コロナウイルス感染症で市税が6・7%の減、地方交付税は0・8%増が見込まれている。臨時財政対策債は57・5%増、財政調整基金から2・1億円、公共施設建設基金から2・05億円繰り入れられている。建設地方債は約87億円となる見込み、償還の4割は交付税措置が見込まれる。臨時財政対策債は全額交付税で措置される。ふるさと納税が7億円見込まれる。

歳出は、福祉行政に36億2千8百万円、保健衛生行政、高齢者福祉、保健事業等に17億6千7百万円、農林水産振興に8億1千4百万円、商工観光に4億8千3百万円、道路、公園、河川、港湾、住宅などに7億9千6百万円、ごみ処理環境保全に13億1千万円、学校教育の振興、施設整備に8億3千5百万円、学校給食に1億7百万円、社会教育、生涯教育に6億2千7百万円他バランスが取れた予算編成であり、民生・福祉に配慮した認定すべき予算であり、議案第3号から第8号まで全ての予算案に賛成する。

反対討論

松尾 征子議員

第七次鹿島市総合計画開始年次として、市民サービスの維持を図り、地方創生に向けたまちづくりのための事業を着実に実施していく予算とのこと。

昨年からの消費税の増税、コロナ、災害の影響で市民の暮らしは崩壊状態にある。市民待望の市民会館建設等大型事業も控えているが、大型事業など先送りしてでも、今、市に課せられているのは、何よりも感染防止による市民の命と暮らしを守り、コロナ禍で受けた様々な苦難を救済することが大事。そのため予算は全く見られない。さらに、同和団体補助、スポーツ合宿誘致など全く見直されていないので反対する。

まちづくり対策特別委員会活動報告

当委員会の構成メンバーは 杉原元博・中村和典・松田義太・稲富雅和・徳村博紀・伊東茂・勝屋弘貞の7議員。鹿島市の大きな課題である鹿島駅舎及び駅周辺整備、文化歴史を生かしたまちづくり、企業誘致等に視点を置き視察を行った。

(期間：令和元年11月13日(水)～15日(金))

駅前広場整備事業について【大分県日田市・宮崎県延岡市】

鹿島駅舎及びその周辺を考えた場合、3つの道路が交わる点、送り迎えが多い点、バスセンター及びタクシー乗り場との連携、駅舎の位置などを考慮し、必要なら用地買収もやるべきで、駅前の整備や駅舎新設及び移転は県やJRとの協議が必要となるが、市民活動拠点としての活用も考慮に入れ今後取り組んでいきたい。

城下町交流拠点施設・歴史文化交流センターについて【大分県竹田市】

城跡日本一にも選ばれた岡城址を中心に歴史を感じることでできるまちづくりは、心落ち着かせる要素が多くあり、交流人口の増加につながるよう今後の展開に期待する半面、旧市街では建物が密集し火災等の災害については弱い面があり、過去にも類焼し大きな被害が出たこともあるようで、鹿島市においても文化財の保護や安全安心という点で、しっかりとした対応の必要性を感じた。

企業誘致の取り組みについて【熊本県菊池郡大津町】

現在、鹿島市においては、新たな工業団地の候補地を選定中であり、地域経済の発展にも大きくかかわってくる事業なので、慎重に協議し対応していく。

今年度は、常任委員会での商工団体等との意見交換等に合わせ話を聞く機会を設けるなど以外、コロナ禍ということもあり本格的な活動がなかなかできなかった。今後は伝承芸能や教育といったソフト面にも視野を広げ、取り組んでいきたい。

まちづくり対策特別委員会 委員長 勝屋 弘貞



JR日田駅前広場



竹田市議会での研修

公共交通対策特別委員会中間報告

令和元年5月に結成された公共交通特別委員会は、鹿島市が抱える道路、鉄道、バス、タクシーなど公共交通の在り方と問題解決に取り組む委員会であります。

今年で委員会結成2年目を迎え、中間報告に差し掛かり、これまでの活動を報告いたします。

まず委員協議会で年間計画を作りました。

- 令和元年9月26日に、鹿島市内循環バスに委員会委員で乗車体験。
- 10月30日、11月22日、道路問題は国道498号の「安全で走行性の高い道路」整備について議論。
- 12月19日、太良町議会の公共交通特別委員会と太良町議会で、長崎本線と地域公共交通について協議。
- 12月20日、嬉野市・武雄市議会を訪問し、国道498号の早期整備について趣旨説明、要望書を県知事に提出することを報告。
- 12月20日、佐賀県庁を訪問し、鹿島市議会として、「一般国道498号(鹿島～武雄間)の早期整備を求める要望書」を山口知事に提出。
- 令和2年9月15日、祐徳バス事業の現状について意見交換。
- 10月19日、鹿島市企画財政課と地域公共交通について協議。
- 11月9日、再耕庵タクシーと、タクシー事業の現状について意見交換。
- 12月18日、鹿島市議会12月定例会において、「公共交通維持のための財政支援を求める意見書(案)」についてを可決。
- 令和3年1月25日、28日、新幹線開業後の長崎本線の肥前浜駅までの電化の要望について協議。結果は、電化に対して地元負担の可能性と費用対効果等を協議しましたが、今後も検討することとしました。
- 2月3日、佐賀県・長崎県・JR共同作業所訪問での意見交換等に取り組みました。

公共交通対策特別委員会 委員長 福井 正



太良町議会との意見交換



市内循環バスの乗車体験

議会あれこれ (令和3年1月5日～3月31日)

1月

- 5日 議会だより編集委員会
- 8日 議会だより編集委員会
- 12日 議会運営委員会
- 15日 佐賀県市議会議長会
- 20日 全員協議会
1月臨時会 開会、議案審議、閉会
- 25日 公共交通対策特別委員協議会
- 28日 公共交通対策特別委員協議会
全員協議会

2月

- 8日 議会運営委員会
- 9日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会
2月定例会 事前勉強会
- 10日 公共交通対策特別委員協議会
全員協議会
ICT活用推進プロジェクト会議
- 12日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
事前勉強会
- 16日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 19日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会
2月定例会
杵藤地区広域市町村圏組合議会
2月定例会 開会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 3月定例会 開会 議案の上程(～3月24日)
ICT活用推進プロジェクト会議
- 26日 佐賀県西部広域環境組合議会2月定例会

3月

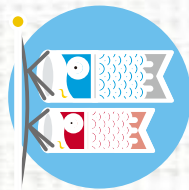
- 2日 3月定例会 議案審議
質疑、討論、採決(～3日)
- 8日 新年度予算審査特別委員会
開会・現地調査(～16日)
- 17日 3月定例会 一般質問(～19日)
- 22日 3月定例会 一般質問
全員協議会
- 24日 全員協議会
3月定例会 議案審議
質疑、採決、委員会報告 閉会
全員協議会
- 25日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会 閉会
- 29日 議会だより編集委員会
- 30日 全員協議会

令和3年1月から3月までの行政視察受入は、ありませんでした。

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	1	22,000	1	10,000	2	32,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	1	10,000	1	10,000
会費	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	630	0	0	0	0	1	630
合計	1	630	1	22,000	2	20,000	4	42,630



令和2年度 かしま議会だより編集委員会

編集委員長 池田 廣志
編集副委員長 中村 和典
編集委員 伊東 茂
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

令和3年3月議会は、令和3年度当初予算と新型コロナウイルス対策補正予算の審議から、さらに、4月から始まる「第7次鹿島市総合計画」や、3か月後に迫っている雨季前の防災対策、去年7月の豪雨災害復旧の進捗状況、国道207号バイパスの交通安全対策、コロナ禍の中での市の財政運営と感染症対策など、多岐にわたる問題点を提起し、市の対応について議論を進めました。

また、今議会は「新年度予算審査特別委員会」を立ち上げ、本委員会に付託された「令和3年度一般会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計」の新年度事業予算の内容等について審査し、慎重に審議を進め、討論・採決の結果、賛成多数で原案通り認定しましたので、「かしま議会だより」第105号にまとめました。

さらに、今議会でも、市民会館建設や鹿島駅周辺整備全体構想、国道498号のルート(案)を検討するなど、鹿島市の将来に向けた大切な議論も進めておりますので、一人でも多くのご意見、ご要望をお待ちしております。

編集後記